



らいは

学校教育目標

- 進んで学び、よく考える子
- 思いやりのある子
- 元気にやりぬく子



らいはっぴー

「地域の皆様の支えに心から感謝申し上げます」

校長 三田 秀典

5月24日(土)、運動会を開催しました。校舎の大規模工事に伴い、本校では初めての春開催となりました。多くの保護者の皆様、地域の皆様にご参加いただきありがとうございました。短い練習期間にも関わらず、子どもたちは一生懸命取り組み、当日は練習の成果を発揮し生き生きと活動していました。

徒競走で最後まで頑張って走り抜く姿、みんなで声を掛け合いながら大玉を運ぶ姿、仲間と息を合わせた集団演技等、皆、一生懸命頑張っていました。鼓笛発表は、練習期間が例年の1/3の2か月間しかなかったにも関わらず、「音を合わせ、動きを合わせ、気持ちを合わせる」という目標に向けて、今できる最大限の努力をしてくれました。

ひたむきに頑張る姿、凛とした態度、うれしそうな笑顔をみていると、子どもたちは、地域のかげがえのない存在であり、我が国の宝であると感じます。10~20年後には、目の前の子どもたちが社会の一員となり、これからの社会を引っ張っていくことになります。子どもたちが活躍する頃の社会は、今と大きく変わっているかもしれませんが、どのような状況においても、自分に自信をもってたくましく生きていく人間になって欲しいと改めて感じた運動会でした。



礼羽小に着任して2か月が経ちました。これまで様々な場面で地域の皆様に支えていただいていることを実感しています。朝の登校時、地域の皆様にボランティアとして、多くの場所で子どもたちの安全を見守っていただいています。お話しをすると、中には10年以上継続されている方もおります。お礼の言葉を伝えると、「子どもたちのためだから」とか「自分の健康のためにもなるから」などと話されます。本当にありがたいことです。ふれあい推進長の皆様には、野菜やサツマイモの苗植え、田植え等々、学習や行事などの支援をいただいています。前述の運動会の際には、2週間前の天気予報で30度に迫る予報が出ていたため、子どもたちのテントをどうしようかと検討し、スポーツ協会や各地区の区長・町内会長さんへ相談したところ、快くテントの貸してくださいました。最終的に熱中症の心配がなくなったため、テントを張ることはしませんでした。このように学校のために力を貸して下さる地域の皆様がたくさんいらっしゃいます。本当にありがとうございます。これからも様々な場面で地域の皆様の力をお借りすることになるかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

学校運営協議会

今年度から加須市の小中学校では、学校運営協議会制度をスタートさせました。学校運営協議会とは、地域の代表の皆様が学校運営協議会委員となっただき、学校運営に対して意見をいただいたり、協議していただいたりすることで地域の考えを学校運営に反映し、よりよい学校にしていくためのものです。

本校の第1回の学校運営協議会では、「礼羽小の子どもたちに身につけてもらいたいこと」というテーマで議論していただきました。様々な意見が出されましたが、それらをもとに協議したところ、「挨拶ができること」、「自他を大切にできること」という意見に集約されました。このことを地域の意見として、今後の学校運営に反映してまいります。



長寿命化に伴う大規模改修工事

半世紀に渡り礼羽地域の子どもたちの教育活動を見守ってきた現校舎が長寿命化工事に伴い大規模改修となります。予定では校舎の工事が今年度までとなり、来年度には体育館の床等の工事となります。長期の工事となりますが、子どもたちの安全を第一とし、加須市、市教育委員会、施工業者と連携をして工事を進めてまいります。早速6月7日（土）から、県道側のフェンスを解体し工事車両等の搬入口の設置することから工事が始まります。今後の進捗状況は、学校だより等でお知らせしてまいります。ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。



校内硬筆競書会

5月29日（木）全校で校内硬筆競書会が行われました。1年生の児童は、初めての競書会に少し緊張した面持ちで自分の作品づくりに取り組んでいました。高学年の作品からは、文字の丁寧さや、全体のバランスを意識した構成など、日頃の学習の成果が強く感じられました。今回の競書会を通して、子どもたちは文字を丁寧に書くことの大切さだけでなく、一つのことに集中して取り組むことの喜びも感じるのではないでしょうか。

